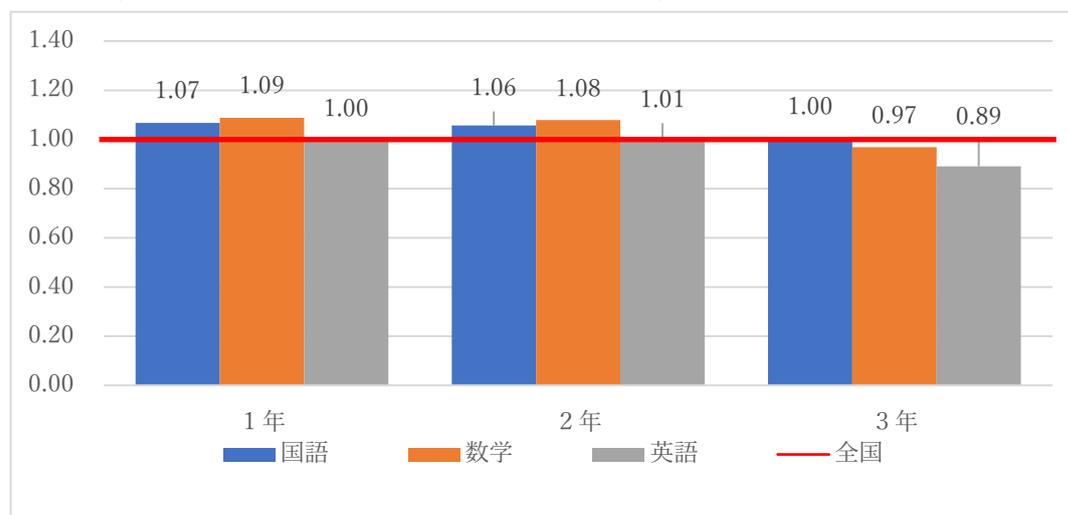


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

友呂岐中学校区 友呂岐中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	情報の扱い方に関する事項において、全国平均を超えている。これからも、報告する文章を書くなど「書くこと」領域についての指導に取り組んでいく。
	数学	「図形」領域が全国平均を上回っている。基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、四角錐の投影図への理解など空間図形についても理解を深める指導を行っていく。
	英語	「書くこと」領域について全国平均を上回っている。場面に応じて書く、情報に基づいて書く英作文力などを育み、「聞くこと」「読むこと」領域にも指導を充実させていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	具体と抽象など、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる設問において、全国平均を超えている。今後も、情報の扱い方に関する事項の指導の充実を図っていく
	数学	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる設問において、全国平均を超えている。今後も、データの活用能力を育む指導を行っていく。
	英語	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる設問において、全国平均を超えている。英語力向上に向けて、「知識・技能」「思考・判断・表現」を育む指導をより一層図っていく。
	質問紙	「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に、肯定的な回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。今後も、ディベート教育を通じて、より活動を深めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】校区学力向上部会にて調査内容の分析を行い、成果と課題を明確化し、校区全教職員で共有する。今後も、9か年を通じた児童生徒の学力向上に取り組み、校区で協働して系統的にディベート活動の取り組み、キャリア育成も図っていく。

【学校】ICT活用した授業を展開して、主体的に学びたくなる授業を実践していく。